

## ■ 活動テーマ「ふるさと探検 ～穴村町編～」

### （人と地域が輝く常盤協議会 文化・子ども部会）」

#### 1 【活動の趣旨】

人と地域が輝くふるさと常盤まちづくり計画書 基本目標3「先人の築いた歴史と文化を大切にする ふるさと常盤」のもと、歴史と文化を継承し発展させ、後世に伝える人材の育成を図る取組みの一貫とし、また子どもと大人が共に学ぶことによって、誇りや愛着を深め地域の絆づくりを目指す。

#### 2 【特徴的な活動内容】

実施日 8月2日（木）参加者計53名

（子ども24名（3～6年生対象）・一般1名・  
先生/支援員3名・松葉会4名・町役員4名・  
協議会その他17名）

今年で5回目となる「ふるさと探検」は、穴村町にお世話になりました。

まず、センター出発後、穴村会館で穴村の由来・歴史的ポイント・隠れた自慢・松葉会の「穴村港と馬車」の紙芝居を聞いてから旧常盤小学校4年生の教室を再利用した穴村公民館に於いて穴村町の横山さんから昭和初期の穴村町のお話を聞き、仏照寺では藤林住職から山門のお話や「有難い」という言葉が生まれた経緯のお話、穴村診療所では、樹齢400年の老松や明治中期の門前風景画を見学、吉田玉栄堂では、店主の吉田さんから200年前より作られ引き継がれている「草木だんご」のお話を聞きました。

今年のものづくりは「かざぐるま」。今年で常盤のシンボルでもある「くさつ夢風車」がなくなるので「風車=かざぐるま<sup>ふうしゃ</sup>」を思い思いに作成しました。

毎年取り組んでいる俳句にはボランティアの藤田さんに事前に決めていただいた季語を盛り込んで詠いました。

#### 3 【実施に当たっての工夫】

- ・年度初めに役員・PTA・子ども会連合会を対象に「子どもの活動における危険予知について」講師を招いた講座を開催し、安全に対する心構えを学び、安全性を確保するように心掛けました。
- ・熱中症が心配される酷暑の為、当日スケジュール・移動手段等に細心の注意をはらいました。

#### 4 【事業の成果】

多くの参加者（子どもも大人も）が、長い間住んでいても知らなかったことが多く、今回のふるさと探検を通じて改めて知る機会となった。

#### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

大人と子どもが学び合う地域協働合校事業として始めた「ふるさと探検」であるが、子ども達の生活が多用化している為、年々参加が減少してきているのが課題である。現在は3年生以上が対象であるが低学年も対象にするなど、内容や開催時期等の検討を行い継続実施していきたい。

